



青森河川国道ニュース

道路インフラ

老朽化対策

地元高校生 が体験

弘前工業高等学校 生徒35名が現場見学

※写真は全て高田高架橋における橋梁点検の様子

発足から3年目を迎えた「青森県道路メンテナンス会議」では、道路インフラの老朽化対策について、道路管理者が連携して定期点検や長寿命化の促進と技術力向上、情報共有を図るなどの取組みを行っております。

11月17日(木)に行われた「青森県道路メンテナンス現場見学会」では、弘前工業高等学校の生徒の皆さんに参加いただき、道路の老朽化対策の取組みについて、見学・体験をしていただきました。

見学会は国道7号：高田高架橋（弘前市小比内）・主要地方道大鰐浪岡線：新千歳橋（黒石市追子野木）の2箇所で行われ、高田高架橋では、リフト車に搭乗し床版下面の損傷状況の近接目視点検や打音点検、橋台や部材の損傷等の点検を実際に体験していただきました。また新千歳橋においては、橋梁の耐震補強工事の現場を見学していただき、老朽化対策の取組みを体験していただきました。